

南山大学人類学博物館

年 報

2022 年度

南山大学人類学博物館

巻頭言

新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5月8日から季節性インフルエンザと同じ5類という扱いになった。もちろん、新型コロナウイルスが消滅したわけではないので、油断は禁物だが、ひとまずはコロナ以前の生活に戻るきっかけになったとは言えるであろう。

この間、多くの博物館も苦しんでいた。以前にも書いたが、世界では博物館の13%が閉館したとの推計もある。パンデミックは社会や文化を根底から崩壊させる破壊力があることを思い知らされたのである。

だが、コロナ禍を経て、われわれ博物館にかかわるものにとっては、改めて博物館の役割について考えさせられたことは良い経験だったと捉えておきたい。例えば、コロナ禍の記憶や様々な物的証拠をアーカイブ化しようという試みが北海道の浦幌町立博物館や大阪の吹田市立博物館で実践されたことは、現代史展示の新しい形を垣間見させてくれている。博物館は、〈現在〉を蒐集することで、「現代」にも関わることができるのである。

もう一つ、最近注目されているのが「博物館浴」である。これは博物館や美術館を訪れることでリラックスする効果があるとされており、それを医療と連携して進めようという試みである。イギリスやカナダではすでに実践されていて、カナダでは病院の処方箋に「博物館」と書き込めるといふ。日本では九州産業大学の緒方泉教授が中心となって現在実証実験を重ねているところである。医療機関と連携するためには、なによりも博物館のリラックス効果に関するエビデンスが求められるのである。

こうした試みは、従来の博物館という固定観念を揺らがせるに十分なものである。ここに、当館が目指すユニバーサル・ミュージアムの活動を含めることもできよう。そして、これらのことは、これまでの博物館の概念に頑なであれば、やがては社会と大きく乖離していくことを示している。決して観光事業に加わることが博物館の新たな形ではない。

問題は、このような従来の博物館の概念から逸脱する様々な実践活動を、どのようにこれから学芸員になろうという学生たちに伝えるか、ということにある。博物館は決してカリキュラムに沿って活動するわけではないからである。

良い意味で大きく逸脱していく博物館の在り方を見れば、そこに様々な可能性を見出すことができるのではないか？われわれにはそれを次の世代に伝える仕事がある。

2023年6月

南山大学人類学博物館

目次

1. 2022年度の人類学博物館の活動	
(1) 教育普及活動	1
① 展示	1
② 博物館講座	1
③ 連携	2
④ 博物館実習（他大学より受入）	2
⑤ 総合学習	2
⑥ 人類学博物館WEBページリニューアルとコンテンツ	3
⑦ ボランティア活動	3
⑧ その他	4
(2) 協定事業	4
① 明治大学博物館・南山大学人類学博物館協定事業	4
② 名古屋大学博物館連携講座	5
③ 名城大学附属高等学校との連携授業	5
(3) 調査・研究活動	5
① ユニバーサル・ミュージアム研究会（UM研）東海例会開催	5
② 全国大学博物館学講座協議会への協力	6
(4) 資料の収集・整備と利用	6
① 受贈資料	6
② 燻蒸の実施	6
③ 購入図書	6
④ 受贈図書数	6
⑤ 調査	6
⑥ 取材・メディア出演	8
⑦ 撮影・他機関刊行物等への掲載	8
(5) 出版活動	9
(6) 施設整備	9
2. 組織と運営	
(1) 組織	10
(2) 開館・入館者実績	10
① 開館日数・入館者数	10
② 入館団体内訳	10
3. 規程	
(1) 南山大学人類学博物館規程	12
(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程	13
(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程	15
(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程	16

1. 2022年度の人類学博物館の活動

2020年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で、展示室の利用は本学学生と教職員および研究者に限っていたが、2022年 5月 9日(月)より一般への開館を再開した。各種講座の対面とオンラインのハイブリッド配信、明治大学博物館との交換展示開催、ギャラリートークの復活、名城大学附属高等学校との連携授業も3年ぶりに行った。

(1) 教育普及活動

① 展示

博物館学芸員が企画し、「博物館実習」受講生が授業の一環として、パネル・キャプションの作成および展示作業を行った。

- ・「昭和のイレモノ」

会期：2022年 6月10日(金)～ 7月13日(水)

期間中来場者数：941名

- ・「学芸員のおすすめの逸品展」

会期：2022年 8月25日(水)～ 8月30日(火)

期間中来場者数：87名

- ・「アクセサリー/仮面/貝」

会期：2022年12月16日(金)～2023年 1月11日(水)

期間中来場者数：265名

- ・「日本地図」

「コロナ禍3年の中の南山生」ミニ企画展

会期：2022年12月23日(金)～2023年 1月18日(水)

期間中来場者数：185名

② 博物館講座

2022年度テーマ：「南山大学の研究者」

今年度は、対面と Zoom ウェビナーによるハイブリッド開催を行った。

各回 14：00～

参加費（4回一括）：一般4000円 南山大学生2000円

- ・第1回 6月11日(土)「統合的人類史学の構築：考古・人類学データの総合的検討」
講師：中尾 央（南山大学人文学部准教授）
参加者：対面13名 オンライン8名
- ・第2回 6月18日(土)「台湾の海女（ハイルー）とテングサの採集・加工・流通」
講師：藤川 美代子（南山大学人文学部准教授）
参加者：対面 9名 オンライン8名
- ・第3回 6月25日(土)「愛知県南知多町天神山遺跡と東海地方の縄文時代」
講師：上峯 篤史（南山大学人文学部准教授）
参加者：対面12名 オンライン11名
- ・第4回 7月 2日(土)「エチオピアのイスラーム聖者の足跡を求めて」
講師：石原 美奈子（南山大学人文学部教授）
参加者：対面10名 オンライン10名

③ 連携

◇南山中学・高等学校男子部でのサテライト展示

- ・2022年 4月27日(水)～ 9月28日(水) 石斧、骨角器、縄文土器片、弥生土器片、埴輪、縄文土器深鉢など考古資料
- ・2022年 9月28日(水)～ 2023年 3月14日(火) 緑釉水差し、青銅車軸、中国絵銭、袋状青銅斧など中国関連資料
- ・2023年 3月14日(火)～ 継続展示中 石斧、骨角器、縄文土器片、弥生土器片、埴輪、縄文土器深鉢など考古資料

◇岐阜聖徳学園大学への授業協力

岐阜聖徳学園大学教育学部博物館学芸員課程「考古学」履修生を対象に、本学教員が当館にて授業を行った。

- ・2022年 9月15日(木) 2年生 5名
- ・2023年 2月22日(水) 3年生 7名

④ 博物館実習（他大学より受入）

申込大学：愛知学院大学（2名）、愛知大学（1名）

期 間：2022年 5月30日(月)、6月 1日(水)、6月 2日(木)、6月 6日(月)、
6月 8日(水)、6月10日(金) 計6日間 各日10:00-16:30

実施内容：展示作成、資料梱包・開梱、燻蒸準備業務、資料整理等

実施場所：人類学博物館展示室

WEB展示：「インドネシアの伝統染織布」2022年 6月10日(金) WEBページ公開

⑤ 総合学習

◇見学（6校）

- ・2022年 7月 11日(月) 南山学園南山中学校女子部 20名
- ・2023年 1月 13日(金) 名古屋市立富士中学校 6名
- ・2023年 1月 24日(火) 名古屋市立神丘中学校 21名
- ・2023年 1月 24日(火) 名古屋市立東港中学校 5名
- ・2023年 1月 26日(木) 名古屋市立北中学校 7名
- ・2023年 1月 27日(金) 名古屋市立桜田中学校 5名

◇職場体験学習（1校）

2022年 12月 15日(木)、16日(金) 名古屋市立植田中学校 4名

◇インターンシップ受入

南山高等学校女子部 1年生 3名

同朋高等学校 2年生 2名、1年生 1名

名古屋商業高等学校 2年生 2名

期 間：2022年 7月27日(水)～ 7月29日(金)

⑥ 人類学博物館WEBページリニューアルとコンテンツ

◇スマートフォンやタブレットでの閲覧にも対応するCMS導入、レスポンスWEBデザインの更新を行った。

◇「museum notes」配信

新館報として、人類学博物館の資料を人類学博物館WEBページ「活動紹介」に掲載。

- ・Vol.7 2022年 6月 1日(水) 執筆者：秦 優莉香（人類学博物館学芸員）
- ・Vol.8 2022年10月19日(水) 執筆者：井原 瑠梨（人類学博物館学芸員）
秦 優莉香（人類学博物館学芸員）

◇「おでかけガイドマップ」配信

ボランティアスタッフと共に遺跡、史跡、他の博物館を巡り、その成果をWebページに掲載。

- ・おでかけガイドマップ ミュージアム①北名古屋市歴史民俗資料館
2022年 6月30日(木)
- ・おでかけガイドマップ 遺跡・史跡①熱田台地をあるく
2022年 6月30日(木)
- ・おでかけガイドマップ ミュージアム②美濃加茂市民ミュージアム
2022年 8月26日(金)
- ・おでかけガイドマップ 遺跡・史跡②熱田台地をあるく
2023年 2月 1日(水)

⑦ ボランティア活動

2014年度よりボランティア規程に則りボランティアを募集し、活動を行っている。

◇ボランティア登録者数：15名

◇ボランティア研修

（場所：人類学博物館実習室）

2022年 4月16日(土)	振り返り「人類学博物館おさらい編」	8名
5月29日(日)	神言修道会について	7名
6月18日(土)	人類学博物館の歴史	9名
7月16日(土)	人類学博物館のいま	9名
9月24日(土)	ボランティアガイド作成	9名
10月15日(土)	ボランティアガイド作成	11名
11月19日(土)	ボランティアガイド作成	8名
12月17日(土)	ボランティアガイド作成	11名
2023年 1月31日(火)	ボランティアガイド作成	参加者数記録なし
2月21日(火)	ボランティアガイド作成	参加者数記録なし
3月28日(火)	ボランティアガイド作成	参加者数記録なし

◇実地見学等

・遺跡・史跡めぐり

2022年 4月30日(土) 熱田～大須の遺跡

- 2022年10月30日(日) 熱田の遺跡を中心に
- 2022年12月 4日(日) 大須～白川の遺跡を中心に
- 2023年 2月26日(日) 南区の遺跡を中心に
- ・博物館見学
 - 2022年 5月14日(土) 北名古屋歴史民俗資料館
 - 2022年 6月19日(日) 美濃加茂市民ミュージアム
- ◇入館者対応
 - 2023年 1月 6日(金) 学童TERACO川名校 児童24名 見学補助

⑧ その他

- ◇会場提供
 - 2022年12月17日(土) 昭和区主催のまちなかコンサートを展示室にて開催。

(2) 協定事業

① 2022年度明治大学博物館・南山大学人類学博物館協定事業

- ◇交換展示
 - 期 間： 9月24日(土)～11月 5日(土)
 - テ ー マ：
 - ・明治大学博物館会場
「南山大学人類学博物館のマコンデ彫刻たち」
 - ・南山大学人類学博物館会場
「化石人類の系統と絶滅動物—明治大学博物館コレクションより—」
 - 来場者数：南山大学人類学博物館会場 1,939名 明治大学博物館会場 4,329名
- ◇ギャラリートーク
 - ・明治大学博物館会場 10月22日(土) 11：00～12：00
担 当：井原 瑠梨（南山大学人類学博物館学芸員）
聴講者数：22名
 - ・南山大学人類学博物館会場 10月29日(土) 13：00～14：00
担 当：島田 和高（明治大学博物館学芸員）
聴講者数：15名
- ◇在校生向け特別講義
 - ・南山大学生向け 5月24日(火)
テ ー マ：「大学博物館の使命と機能」
講 師：外山 徹（明治大学博物館）
聴講者数：83名
 - ・明治大学生向け 11月25日(金)
テ ー マ：「南山大学人類学博物館の取組み」
「博物館における歴史と文化の展示の考え方
—南山大学人類学博物館のリニューアルに際して—」
講 師：黒澤 浩（南山大学人文学部）
聴講者数：24名

② 2022年度名古屋大学博物館連携講座「大学博物館が語る、地球と人類のヒストリー」

- ・第1回 10月 1日(土)「一緒にいない生物の謎—外来植物の変遷と繁殖干渉—」
講 師：西田 佐知子（名古屋大学博物館）
会 場：南山大学R49教室
参加者：対面24名 オンライン42名
- ・第2回 10月15日(土) ①「ヨルダンにおける旧石器時代の資源利用から
“ヒトらしさ”を探る」
講 師：須賀 永帰（名古屋大学大学院環境学研究所）
②「インカ帝国の建築構造—行政センターと王領の比較—」
講 師：南 智博（南山大学大学院人間文化研究科）
会 場：名古屋大学博物館
参加者：対面22名 オンライン77名
- ・第3回 11月19日(土)「岐阜の縄文人に学ぶ洞窟・岩陰での暮らし方
—九合洞窟と根方岩陰—」
講 師：廣瀬 允人（木曾広域連合理蔵文化財調査室）
加藤 大智（南山大学大学院人間文化研究科）
会 場：南山大学R49教室
参加者：対面28名 オンライン62名
- ・第4回 11月26日(土)「映像記録の再資料化—1970年代の西北タイ調査事例から—」
講 師：秦 優莉香（南山大学人類学博物館）
藤岡 洋（京都市立芸術大学芸術資源研究センター）
会 場：名古屋大学博物館
参加者：対面11名 オンライン32名

今年度は対面と Zoom ウェビナーによるハイブリッド開催となった。

参加費無料 Peatix サイトを利用しての事前申込制

③ 2022年度名城大学附属高等学校との連携授業

2007年度より名城大学附属高等学校と連携授業を実施している。

普通科国際クラスを対象とし、人類学博物館担当教員が授業を行う。

10月12日(水) 場所：南山大学人類学博物館 博物館見学、ワークショップ等

10月19日(水) 場所：名城大学附属高等学校 黒曜石の観察

10月26日(水) 場所：名城大学附属高等学校 フィールドワークをしよう

(3) 調査・研究活動

① ユニバーサル・ミュージアム研究会 (UM研) 東海例会開催

第1回 2022年 6月 7日(火) 18:00～ Zoom開催 参加者：9名

第2回 2022年10月18日(火) 18:00～ Zoom開催 参加者：13名

第3回 2023年 1月31日(火) 18:00～ Zoom開催 参加者：16名

第4回 2023年 3月30日(木) 18:00～ Zoom開催 参加者：16名

② 全国大学博物館学講座協議会への協力

2022年10月28日(金)13:00~18:00 R49 教室会場にて西日本部会大会開催
参加者が当館を自由見学。

研修会にて、当館学芸員の井原 瑠梨が口頭発表。

「ユニバーサル・ミュージアムを目指して—南山大学人類学博物館の取り組み—」

聴講者数：対面 38名 オンライン 35名

(4) 資料の収集・整備と利用

① 受贈資料

- ・丸山徹氏より 切手コレクション 合計 11冊分
- ・早川正一氏より 化石 1点、バリのお土産品 1点、柄付き石斧 1点、インドネシアの布 9点、拡大鏡 1点、拡大鏡の附属品 1点、本 3冊、李朝の家具 1点、貿易陶器関連 181点 合計 199点

② 燻蒸の実施

・施設燻蒸G棟

5月11日(水) 施工前昆虫トラップ配置

5月29日(日) 施工前昆虫トラップ回収、燻蒸実施、施工後昆虫トラップ配置

6月12日(日) 施工後昆虫トラップ回収

・施設燻蒸R棟

5月29日(日) 施工前昆虫トラップ配置

6月12日(日) 施工前昆虫トラップ回収、燻蒸実施、施工後昆虫トラップ配置

7月 5日(火) 施工後昆虫トラップ回収

③ 購入図書

8冊

④ 受贈図書数

発掘調査報告書	一般図書・紀要・年報・図録・研究報告等	たより類
1,227	434	224

⑤ 調査

来館者名	資料名	実施日
南山大学非常勤講師 川合剛氏	日吉原遺跡出土石器	2022年 4月15日
南山大学人文学部 中尾央氏	縄文人骨 (出土地不明)	2022年 4月20日
あいち朝日遺跡ミュージ アム 原田幹氏	西北タイ歴史・文化調査団資料 (収穫具) パプアニューギニア資料 (石斧)	2022年 5月 9日

南山大学人文学部 上峯 篤史氏	西坂遺跡出土石器、入海貝塚・保美貝塚・伊 川津貝塚出土土器	2022年 5月12日 ～6月9日
名古屋大学大学院 須賀 永帰氏	入海貝塚出土土器	2022年 5月19日
北陸学院大学 小林 正史 京都大学総合博物館 村上 由美子氏	上智大学 西北タイ調査資料	2022年 6月25日
南山大学大学院 村井 咲月氏	恵日山遺跡・赤土坂遺跡出土石器	2022年 6月28日、 7月 1日
早稲田大学 矢野 弘登氏	ニッサンムシカマド	2022年 7月 4日
南山大学大学院 村井 咲月氏	赤土坂遺跡出土石核、恵日山遺跡出土細石核	2022年 7月 6日、 7月21日
南山大学非常勤講師 川合 剛氏	日吉原遺跡出土石器	2022年 7月28日
ヤオ族文化研究所 廣田 律子氏	上智大学西北タイ歴史文化調査団 収集資料	2022年 9月15日、 9月16日
東京大学総合研究博物館 海部 陽介氏	保美貝塚出土人骨	2022年10月13日
南山大学大学院 村井 咲月氏	恵日山遺跡・赤土坂遺跡出土石器	2022年10月20日、 11月17日
南山大学人文学部 堀江 咲名氏	入海貝塚出土土器	2022年10月31日 ～11月1日
阿智村教育委員会 中里 信之氏	大須二子山古墳出土資料	2022年12月26日
あいち朝日遺跡ミュージ アム 原田 幹氏	西北タイ歴史・文化調査団資料（収穫具） パプアニューギニア資料（石斧）	2022年12月26日
阿智村教育委員会 中里 信之氏	大須二子山古墳出土資料	2023年 2月27日
あいち朝日遺跡ミュージ アム 原田 幹氏	西北タイ歴史・文化調査団資料（収穫具） パプアニューギニア資料（石斧）	2023年 2月28日
南山大学人文学部 堀江 咲名氏	入海貝塚出土土器	2023年 3月23日 ～3月24日
南山大学人文学部 川瀬 麻実氏	黄島遺跡出土土器	2023年 3月24日

南山大学大学院 加藤 大智氏	根方岩陰遺跡出土資料	2023年 3月29日 ～ 3月30日
-------------------	------------	------------------------

⑥ 取材・メディア出演

依頼元	サイト・番組名	掲載日・放送日
NHK 報道局	「ニュース LIVE! ゆう 5時」 企画：大学博物館で“学び”を身近に	2022年 5月31日
日本経済新聞	生活情報誌「プラス1」 企画：何でもランキング 「楽しい大学ミュージアム」	2022年 6月25日
日本文化の入口マガジン 和楽 web	日本文化の入口マガジン「和楽 web」 https://intojapanwaraku.com/culture/209605/ 企画：南山大学人類学博物館で展示品に触れる。縄文土器のさわり方解説	2022年10月20日
CBC ラジオ	「北野誠のズバリ」 『地元で聞きちゃうぞ』コーナー 企画：展示資料にさわることができる博物館 「南山大学人類学博物館」とはどんなところ？	2022年11月21日
株式会社 hotozero	「ほとんど0円大学」ウェブマガジン http://hotozero.com/ 企画：名古屋大学博物館との連携講座 第3回（11/19開催）を取材・掲載	2023年 1月26日

⑦ 撮影・他機関刊行物等への掲載

機関名	資料名	刊行物名等	刊行予定
有限会社 アート・エフ	二ツ木貝塚出土深鉢土器 1点	(株)学書発行「定期テスト直前 対策問題集 歴史 I」塾用教材	2022年 5月 9日
西尾市教育委員会	清水遺跡出土 土偶・刃痕付 土器・絵画土器 3点	『新編西尾市史 通史編 1 原始・古代・中世』	2022年10月
株式会社 山川出版社	二ツ木貝塚出土深鉢土器 1点	山川歴史PRESS10月号	2022年 10月10日
山梨県立大学 人間福祉学部 古屋 祥子氏	館内写真 2点	科学研究費助成事業 「地域連携による触覚鑑賞ツール についての調査・開発研究」 報告書	2022年 9月30日
日本文化の入口 マガジン「和楽 web」	館内全体写真等 計4点	日本文化の入り口マガジン 「和楽 web」	2022年 9月 ～10月

昭和三区役所	館内全体写真	1点	昭和三区まちなかコンサート チラシ	2022年 10月28日
南山大学 外国語学部 安藤 結氏	氷冷蔵庫、テレビ		ビデオ製作物（授業課題）	2022年11月
福島市役所 文化振興課	花輪台貝塚出土土偶	1点	縄文魅力発信動画	2022年11月
柏書房株式会社	入海貝塚、余山貝塚出土土偶	2点	土偶大事典	2023年 1月10日
有限会社 アート・エフ	二ツ木貝塚出土深鉢土器	1点	「さなる式 歴史 I」塾用問題集	2023年 3月 1日
柏書房株式会社	花輪台貝塚出土土偶	1点	土偶大事典	2023年 4月 1日
一般社団法人 下諏訪町地域開発 公社 観光振興局	館内全体写真	3点	各種新聞広告（朝日新聞、読売新聞、信濃毎日新聞、長野日報社、市民新聞等）、ホームページ	2023年 3月 8日
株式会社 山川出版社	二ツ木貝塚出土深鉢土器	1点	山川&二宮 ICT ライブラリ	2023年 4月
好古日和	花輪台貝塚出土土偶	1点	土偶変遷 T シャツ	2023年 4月22日
秋田県立 近代美術館	花輪台貝塚出土土偶	1点	縄文 小川忠博写真展	2023年 4月22日
株式会社文学通信	花輪台貝塚出土土偶	1点	『土偶を読むを読む』	2023年 4月30日
株式会社 山川出版社	二ツ木貝塚出土深鉢土器	1点	『高校日本史』準拠「高校日本史ノート」	2023年 4月

(5) 出版活動

- ・『南山大学人類学博物館紀要』第41号
- ・『南山大学人類学博物館年報』2021年度（Web掲載）

(6) 施設整備

2022年 8月26日(金) G棟人類学博物館収蔵資料室第二展示室
壁面にメッシュパネル設置

2. 組織と運営

(1) 組織

1) 職員

館長	奥田 隆明	(副学長／経営学部教授)
担当教員	黒澤 浩	(人文学部教授)
学芸員	秦 優莉香	(特別嘱託職員)
	井原 瑠梨	(特別嘱託職員)
	内木 志保	(派遣職員) (2023年3月1日～)
事務員	中村 奈々恵	(専任嘱託職員) (～2023年2月28日)
	水田 真紀子	(専任嘱託職員) (2023年2月1日～)
	武本 美和子	(臨時職員)

2) 博物館運営委員会

委員長	黒澤 浩	(人文学部教授)
委員	谷口 佳津宏	(人文学部教授)
	渡部 森哉	(人文学部教授)
	上峯 篤史	(人文学部准教授)
	宮脇 千絵	(人文学部准教授)
	友松 順一	(学事第二課長)
事務局	学事第二課	(人類学博物館事務室)

3) 資料評価委員会

委員長	渡部 森哉	(人文学部教授)
委員	上峯 篤史	(人文学部准教授)
	宮脇 千絵	(人文学部准教授)
事務局	学事第二課	(人類学博物館事務室)

(2) 開館・入館者実績

2022年 5月 9日(月)より、平日(月～金) 10:00～16:30で一般開館を再開した。大学のイベントの規模も大きくなり、高校生のカンパスタア一件数も増えたことで入館者の増加につながっている。

① 開館日数・入館者数

開館日数	入館者数	団体数	団体人数
246	6,968	67	2,831

② 入館団体内訳

・大学見学

見学日	学校名	人数
5月10日	美濃加茂高等学校	67
5月26日	愛知県立小坂井高等学校	160

6月7日	愛知県立岡崎西高等学校	151
6月13日	日本福祉大学附属高等学校	42
6月14日	愛知県立名古屋南高等学校	42
6月16日	専修学校クラーク高等学院名古屋校	114
6月23日	愛知県立昭和高等学校	85
6月27日	愛知県立鳴海高等学校	41
6月27日	名古屋市立富田高等学校	42
6月29日	南山国際高等学校	40
7月6日	三重県立川越高等学校	80
7月8日	三重県立いなべ総合学園高等学校	40
7月12日	日本福祉大学付属高等学校	42
7月13日	名古屋経済大学市邨高等学校	80
8月3日	愛知県立津島東高等学校	18
8月24日	愛知県立津島高等学校	15
9月9日	南山高等学校女子部	30
9月28日	大口町立大口中学校	41
10月7日	静岡県立浜名高等学校	80
10月7日	聖隷クリストファー高等学校	90
10月13日	愛知県立一宮興道高等学校	40
10月14日	静岡県立島田高等学校	80
10月14日	沖縄県教育委員会引率の高校生	30
10月19日	愛知県立小牧高等学校	40
10月21日	岐阜県立大垣北高等学校	80
10月21日	大同大学大同高等学校	45
10月25日	愛知県立名古屋西高等学校	60
10月26日	岐阜県立益田清風高等学校	30
10月31日	静岡県立富士宮西高等学校	44
11月11日	長野県飯田風越高等学校	83
11月29日	名城大学附属高等学校	30
12月7日	長野県伊那弥生ヶ丘高等学校	50
12月19日	桜丘高等学校	40
2月15日	四日市市立富洲原中学校	22
3月13日	愛知県立惟信高等学校	70

・大学見学以外の団体

日付	団体名	人数
6月21日	中京大学	6
6月22日	ダイサービスホット	5
6月24日	宇野様	10

7月11日	名古屋市博物館	7
7月26日	名古屋市博物館	3
8月25日	とこなめ陶の森	7
9月9日	八王子郷土資料館	2
10月1日	大ナゴヤツアーズ	10
10月24日	山田様	9
10月25日	天白こじょう会	12
11月10日	クラブツーリズム	17
11月19日	大ナゴヤツアーズ	10
12月8日	名古屋大学	20
12月17日	昭和区まちなかコンサート	33
12月26日	大正大学	8
1月6日	TERACO 川名校	24
1月10日	シェア放課後デイサービス	12
1月25日	緑区ウォーキング会	11
1月30日	今寺様	6
2月15日	名古屋経済大学	5
2月16日	リハビリカレッジ	6
3月17日	粟生様	16

3. 規程

(1) 南山大学人類学博物館規程

(目的)

第1条 南山大学学則第44条の2にもとづき、本学に南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）を置く。

② 博物館は、「人類学（文化資源学、考古学、民俗学および民族学を含む。）」（以下「人類学」という。）に関する資料の収集、調査、解析、収蔵、管理、保存、展示、公開などを行ない、本学の学生、職員および社会の利用に供し、教育・研究に資することを目的とする。

③ 博物館の組織および運営については、この規程の定めるところによる。

(事業)

第2条 前条第2項の目的を達成するため、博物館は、次の各号に掲げる事業を行なう。

- 1 人類学に係る調査、収集、保存、管理および解析
- 2 人類学の展示および公開
- 3 人類学に関する情報提供
- 4 人類学に関する教育研究の支援
- 5 博物館所蔵資料を利用した生涯学習の企画および運営

6 博物館および博物館に従事する職員の資質向上に寄与する学芸員の養成

(館長)

第3条 博物館に館長を置く。館長は副学長（研究推進担当・教育支援担当）とする。

② 館長は、博物館の事業を統轄し、博物館を代表する。

(担当教員)

第4条 博物館に博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）を置く。

② 担当教員は、博物館活動の企画・運営に従事する。

③ 担当教員は、学長が推薦する候補者について、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

(運営委員会)

第5条 博物館の運営に関する重要事項を審議する機関として南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

② 運営委員会に関する規程は、別に定める。

(資料評価委員会)

第5条の2 第2条第1項第1号に定める収集事業を適正に遂行するために、南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「資料評価委員会」という。）を置く。

② 資料評価委員会に関する規程は、別に定める。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、博物館の運営について必要な事項は、運営委員会の議を経て、館長が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2020年4月1日から施行する。

(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程

(目的)

第1条 南山大学人類学博物館運営委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）の運営に関

する重要事項を審議することを目的とする。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 1 博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）
 - 2 博物館学芸員養成課程委員会委員長
 - 3 学長より推薦された者若干名
- ② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。
- ③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- 1 博物館の予算（案）および決算（案）に関する事項
- 2 博物館資料の収集に関する事項
- 3 博物館関係規程の制定または改廃に関する事項
- 4 博物館の事業に関する事項
- 5 その他博物館の管理運営に関する重要事項

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、担当教員をもってあてる。

- ② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- ③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。
- ④ 委員会は、特に定めのある場合のほか、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。
- ⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(博物館資料の収集)

第5条 委員会は、博物館が収集しようとする資料について、南山大学人類学博物館資料評価委員会にその受け入れの可否を諮問することができる。

(事 務)

第6条 委員会の事務は、学事第二課が担当する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2021年4月1日から施行する。

(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程

(目 的)

第1条 南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条の2にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）において行う博物館資料の収集に関する事項を協議することを目的とする。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

1 南山大学人類学博物館運営委員会委員2名

2 博物館長より指名された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、博物館が収集しようとする資料について、その受け入れの可否を、南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）の諮問に基づき、協議する。

② 委員会は、協議の結果を速やかに運営委員会に報告する。

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事 務)

第5条 委員会の事務は、学事第二課が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑 則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定

める。

附 則

この規程は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2021年4月1日から施行する。

(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）におけるボランティア（以下、「博物館ボランティア」という。）の活動内容および登録手続等を定める。

(目 的)

第2条 博物館ボランティアは、博物館と共働して教育普及活動の向上に取り組み、利用者と博物館資料および博物館との交流を促し、「すべての人の好奇心のための博物館－ユニバーサルミュージアム」の実現と発展に寄与することを目的とする。

(活 動)

第3条 博物館ボランティアは、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- 1 館内における利用者の誘導、展示室における展示解説ならびに監視
- 2 その他、博物館事業への協力活動

(活動上の原則)

第4条 博物館ボランティアの活動は、博物館の教育普及活動の一部に携わるものであるため、ボランティアは、一定の規律と責任が伴うことを自覚し行動する。

- ② 博物館ボランティアは、その活動に関して個人情報に適切に取り扱う義務を負うとともに、個人情報および活動上知ることのできた秘密について守秘義務を負う。ボランティア登録を取消した後も同様とする。

(登 録)

第5条 博物館ボランティアへの登録は、人類学博物館事務室（以下「事務室」という。）に申請するものとし、人類学博物館運営委員会委員長がこれを承認する。

- ② 博物館は、ボランティア登録の承認が得られた者に対し、「ボランティア証」を交付する。

(登録取消)

第6条 ボランティアの資格は、次の各号の一に該当するときは登録取消とする。

- 1 登録取消の申し出が本人より事務室へあったとき
- 2 第4条に违背する行為があったと認められるとき

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、人類学博物館運営委員会および大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、2014年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

2023年6月20日 印刷

2023年6月20日 発行

南山大学人類学博物館年報 2022年度

編集・発行 南山大学人類学博物館

466-8673 名古屋市昭和区山里町18

phone 052 (832) 3147

印刷 株式会社ウエルオン

460-0007 名古屋市中区新栄3-21-31

phone 052 (732) 2227